

けがが回復し、元気いっぱい羽ばたくサンバの幼鳥
 6日、石垣市の県立石垣青少年の家



けがが回復、サンバ放鳥 石垣

【石垣】県立石垣青少年の家で保護され、けがが回復したサンバの幼鳥が6日、放鳥され、元気に空へ羽ばたいた。市民が今年2月、市内の道路側溝で、右足の一部がえぐれた状態で発見。治療後、石垣青少年の家でリハビリを受け、1カ月後には餌をつかめるまでに回復したという。

保護されたサンバはメスで、この日の測定では全長44センチ、体重40.5グラムだった。発見時はものをつかむ動きができない状態だった。同施設の佐野清貴さんは「治って良かった。自然の力はすごい。また戻ってくることを期待したい」と話した。

読んで
温かい
NIE